

一、三線のかまえ方。

- ① 背筋を立てる。(腕と肩の力を抜く)
- ② 三線の胴の周りにティীগと言いうカバーがあります。その真ん中(一般的なカバーだと紋が付いています)辺りを、右足腿に乗せます。

※体に胴(チーガ)を付けない。体から握りこぶし一つ分はなす。(2-1)

- ③ 右腕は胴の上に「立てて」のせます。

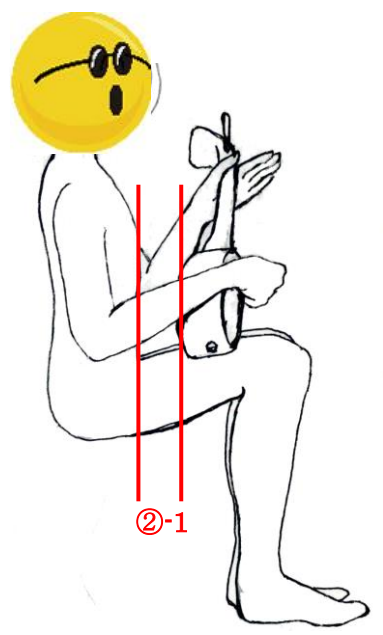
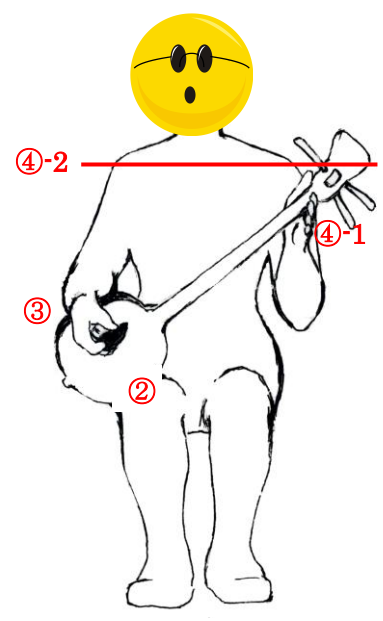
腕を寝かせてしまうと指だけで、音を出そうとして姿勢が崩れてしまいます。

- ④ 左手は、三線の頭(面：チラー)と竿の付け根に「立てて」持ちます。

※手のひらが竿に付かないようにします。(4-1)

※三線の頭(面：チラー)と肩の高さが同じになるようにします。(4-2)

※三線と肩が平行になるようにします。(4-3)

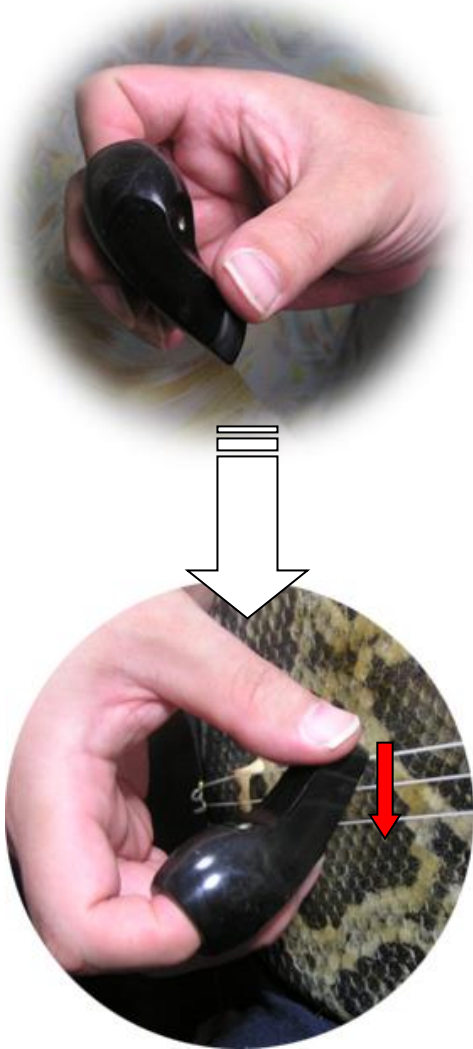


二、バチの持ち方。

- ① 右手人差し指を、バチの穴の中に軽く入れます。
- ② 親指は窪んでいる、先端に乗せます。
- ③ 残りの指(中指、薬指、小指)は、バチの上に軽く添えます。

※太鼓に小指をのせたりせず、指をバチに揃えて添えてください。

*** 持ち方・弾き方 ***



注意：弦に深く爪を掛け過ぎない様にし、次の弦に乗せるように弾く。